

11月8日はいい歯の日



日本歯科医師会 PRキャラクター「よ坊さん」



県民の皆様へ～創立100周年を迎えるにあたって～
「生きる医療」から「生活を支える医療」へ

茨城県歯科医師会
会長 森 永和 男

茨城県歯科医師会は、創設以来、県民の皆様と共に歩んでまいりましたが、今年の12月に創立100周年を迎える事となりました。現在、皆様の様々なお力添えを頂きまして、県民の皆様の健康増進のための活動が順調に進んでおりますことに対して、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度の総医療費は37兆6000億円で、一昨年度の総医療費に比べて2兆5000億円程度年間で増加しています。この額は歯科の年間総医療費に匹敵します。これは高齢化社会に突入し、不幸にして病気を患い、虚弱のまま推移している人たちが増加していることを意味し、残念ながら健康寿命が追い付いていない事を如実に表していると考えられます。果たして生きていくだけで幸せなのでしょうか。決

また、現在、肺炎は死亡原因の中でも第3位を占めるようになってしまいましたが、ここで考えなくてはならないのは、肺炎の約70%は誤嚥性肺炎と言われている事です。この誤嚥性肺炎の大半は、口腔ケアを含む口腔の健康の維持によって予防、改善されることが分かっています。よく噛んで食べる事によって認知症の発症を予防する事も疫学的に証明されていますし、手術をする時に口腔ケアを含む口腔内の健康を維持する事によって合併症が軽減される事も分かっています。このような事から生きる医療（疾病医療）と生活を支える医療（予防医療）が同時に進行しなければ真の健康長寿大国を達成することは出来ないと考えております。

生きる医療の大切さを追求し、日本が長寿国になった事は事実であり、世界に誇れることと思われまます。しかし、高齢化社会になって分かった事は、この生きる医療に対して生活を支える医療があるはじめて健康大国を作り上げることができるという事です。

人生50年の時代には歯科医療は「いのち」には関係ないといった考え方が大半でしたが、長寿社会になって80、90歳が常識となりますとそうは言っていられません。生きる医療と共に生活の質を高める医療、すなわち「人生ゆりかごから墓場まで」の言葉の通り、楽しい老後の生活を送れる社会を実現するための医療を考えていかなければなりません。すなわち、一生食べる事の大切さを理解し、食べる事の喜びを味わえる人生を送っていただく事があります。これが真に求められる歯科医療なのです。

歯科医療はまさに生活を支える医療なのです。すなわち生活の質（Q.O.L）を高める医療であり、口腔内の健康を保つための歯科医療こそが全身の健康を維持し、ひいては健康な長寿社会を堅持すると考えております。この事を皆様にご理解頂き、健康大国を達成して行きたいと考えております。今後とも県民の皆様のご協力を切によろしくお願い申し上げます。

平成24年度 歯の衛生に関するポスター中央審査会入賞者

小学校の部

知事賞 6年 筑西市立下館小学校 北川 京 都

教育長賞 6年 つくば市立大曾根小学校 岡野 紗 佳

歯科医師会長賞 坂東市立神大実小学校 6年 倉持 広子

優秀賞 水戸市立内原小学校 3年 飛田 尚 哉 那珂市立額田小学校 3年 富 永 萌 美 鉾田市立大和田小学校 3年 井川 史 也

佳作 ひたちなか市立田沼小学校 3年 坂本 いろは 水戸市立高野小学校 3年 大宮 遥 翔 茨城県立高野小学校 3年 大宮 遥 翔 茨城県立高野小学校 3年 大宮 遥 翔

中学校の部

知事賞 2年 結城市立結城中学校 堀江 彩 乃

教育長賞 3年 常総市立石下中学校 高野 蒼

歯科医師会長賞 3年 古河市立三和東中学校 染野 真 輝

優秀賞 水戸市立双葉台中学校 3年 石川 紗 衣 結城市立結城南中学校 3年 須藤 円 香 県立つくば特別支援学校中部 2年 鶴川 心

佳作 大洗町立第一中学校 2年 児玉 さくら 常陸太田市立瑞穂中学校 3年 杉山 真 穂 神栖市立神栖第四中学校 3年 幸保 紀 華 石岡市立南中学校 3年 渡邊 明 花 結城市立結城中学校 3年 岡野 碧 県立茨城特別支援学校中部 2年 宇津野 杏 花

茨城県歯科保健賞

ひとらほ
（「人にやさしい器」づくり活動を行う笠間焼陶芸家の会）
食のユニバーサルデザインとして地域の保健医療に貢献

茨城県歯科保健賞 奨励賞
行方市立太田小学校
稲敷市立太田小学校
ひたちなか市立前渡小学校
医療法人博仁会志村大宮病院

8020 高齢者よい歯のコンクール

最優秀

自分の歯28本！ 親知らずを除いたすべての歯が健康で、治療したところもほとんどありません。
食事は好き嫌いがなく、何でもよく噛んで食べています。
夜寝る前の歯みがきは、15分以上かけて丁寧にしています。かかりつけ歯科医で、3ヶ月ごとに定期歯科検診と歯石除去を受けています。

日立市 遠藤 昭治 (81歳)

優秀 常陸大宮市 植田 トヨ子 (81歳) 水戸市 墳崎 行雄 (81歳) 笠間市 半田 トキ (81歳)
下妻市 笹又 キミ子 (80歳) 笠間市 田口 三夫 (80歳)

シニア賞 水戸市 田切 智恵 (91歳) **特別賞** 常陸大宮市 海野 昇 (80歳)

親と子のコンクール (母と子)

最優秀

母子ともに、むし歯が1本も無く、健康で美しい歯と歯ぐきを保っています。
歯は健康の原点。日頃から、規則正しい食事やよく噛む習慣を心がけています。3人姉妹の長女の紗季さんと次女・三女の朝・晩の仕上げみがきが毎日の日課です。

筑西市 長谷川 真奈美(母) 紗季(子)

優秀 つくばみらい市 鈴木 歩(母) 淳心(子) 潮来市 谷田川 博子(母) 杏那(子)
神栖市 海宝 淑江(母) 優里(子) 石岡市 栗原 美奈(母) 拓也(子)

親と子のコンクール (父と子)

最優秀

父子ともに、むし歯も治療した歯も無く、健康な歯と歯ぐきを保っています。
毎日の仕上げみがきは、奥歯の側面まで丁寧にしています。また、かかりつけ歯科医で、定期健診や予防処置を受けています。
身体の健康も口の健康も大事という思いから、子どもと公園に出かけ、体を動かす時間を大切にしています。

守谷市 五味 昌士(父) 万優子(子)

優秀 笠間市 惣野代 修一(父) 真温(子) 水戸市 酒井 健一(父) 楓真(子)
笠間市 久地岡 亮二(父) 暖莉(子) 鹿嶋市 井関 政晴(父) 桃子(子)

茨城県歯科医師会創立100周年 第21回茨城県民歯科保健大会

ハチマルニイマル・ロクヨンニイヨ
テーマ 8020・6424をめざして
(80歳で20本以上、64歳で24本以上の歯を保つ)

歯の健康フェスティバル

日時 平成24年 11月11日(日) 12:30~16:00 (受付 12:00~15:30)
場所 茨城県歯科医師会館 (水戸市見和2丁目292) **入場無料**

体験・相談コーナー

- 子ども歯医者さん体験
- フッ化物洗口体験
- 口の中の細菌を顕微鏡で見よう、ブラッシング指導
- 噛むカムチェック
- マネキン実習体験
- 動物石膏模型ペインティング
- 体脂肪チェック、血管年齢測定 等

展示

- 8020高齢者よい歯のコンクール受賞者インタビュー
- 親と子のよい歯のコンクール受賞者からのメッセージ
- 歯の衛生に関するポスター優秀作品
- 歯科医師会の活動、新聞掲載記事紹介
- 「ご当地よ坊さん」の愛称募集
- 噛むかむレシピ賞受賞作品展示
- 人にやさしい器、笠間焼

茨城歯科専門学校オープンキャンパス

- 茨城歯科専門学校 歯科衛生士科・歯科技工士科紹介
- ハザード
- 軽食販売、喫食コーナー

歯科医師会からのお知らせ 詳しくは、茨城県歯科医師会 HP <http://www.ibasikai.or.jp/> で。
☆職場復帰をご検討中の歯科衛生士さんへ
☆噛むかむレシピ大募集
茨城県歯科医師会では、噛む回数が増えるおいしいレシピを募集。茨城県の地元の食材をいかした噛みこたえのあるレシピをご応募ください。

【問い合わせ先】 茨城県歯科医師会 TEL: 029-252-2561
主催 茨城県歯科医師会・茨城県